

Q&A

発熱と黄疸を主訴に来院した高齢男性の1例

【問 題】

症例：76歳男性.

主訴：発熱.

現病歴：3週間ほど前から食思不振と、灰白色便、尿の黄染を自覚していた。一昨日の夜から悪寒と発熱を自覚したため、近医を受診した。血液検査で肝胆道系酵素の上昇を認めたため、本日常

院を紹介受診した。

既往歴：肺癌（左肺下葉切除術後、右肺重粒子線治療後）、高血圧症、高尿酸血症、腹部大動脈解離（Stanford B）。

家族歴：特記事項なし。

生活歴：飲酒歴：日本酒1~2合/日。喫煙歴：60本/日、20歳から55歳まで。

アレルギー：なし。

現症：意識レベルJCS 0、体温39.0℃、血圧

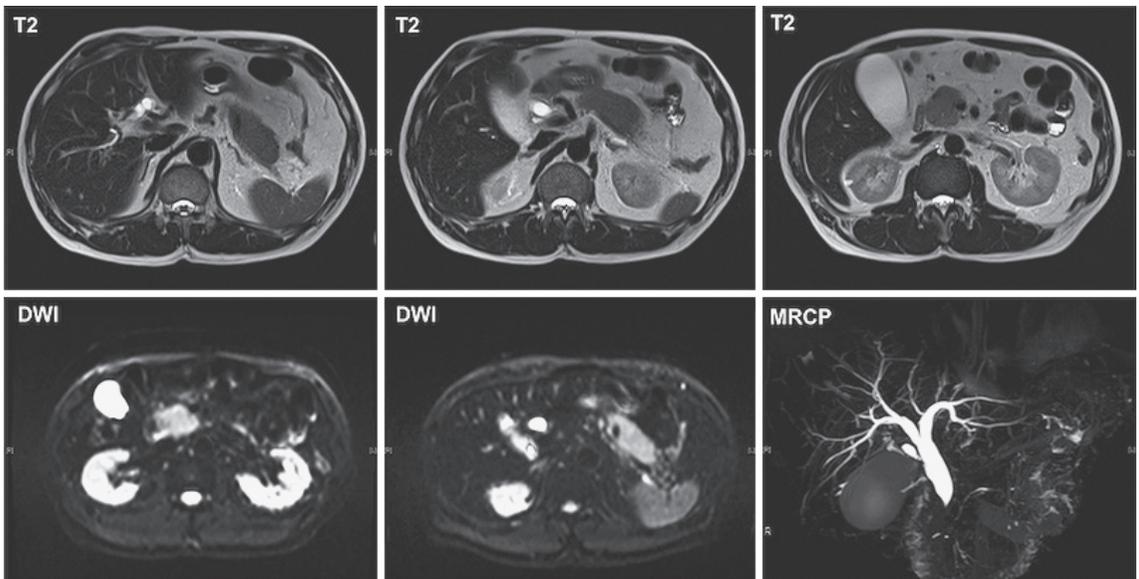


Figure 1. 来院時のMRI像.



Figure 2. 来院時のCT（造影）像.

2021年5月

152/80mmHg, 心拍数 90/分 (整).

身体所見：眼瞼結膜に貧血なし，眼球結膜に黄染あり，涙腺や唾液腺の腫大はなし，頭頸部リンパ節腫脹なし，肺野呼吸音清，心音純，腹部は平坦かつ軟，圧痛なし，肝脾腫なし，下腿浮腫なし。

血液検査：〔血液所見〕 WBC 6900/ μ l, RBC 482万/ μ l, Hb 15.8g/dl, Ht 46.0%, Plt 22.1万/ μ l.

〔血液凝固所見〕 APTT 27.5sec, PT-INR 0.95.

〔血液生化学所見〕 TP 8.2g/dl, Alb 4.4g/dl, TB 16.0mg/dl, DB 13.5mg/dl, AST 162IU/l, ALT 365IU/l, LDH 365IU/l, ALP 1184IU/l, GTP 960IU/l, BUN 17.7mg/dl, Cr 0.84mg/dl, AMY

37IU/l, GLU 115mg/dl, HbA1c 6.3%, TG 175mg/dl, CRP 1.34mg/dl, Na 137mEq/dl, K 5.0mEq/l, CL 100mEq/l, Ca 8.9mg/dl, IgG 1466mg/dl, IgG4 473mg/dl, CEA 0.9ng/ml, CA19-9 31.0U/ml.

胸部X線写真：心胸郭比48%，肋骨横隔膜角鋭，肺野に明らかな異常陰影なし。

来院後に撮像したCTをFigure 1に，MRIをFigure 2に示す。

診断は？